

一私立大学環境保全協議会第7回海外研修報告一

『タイ タイ環境研究研修センター』

私立大学環境保全協議会名誉会員 名児耶忠章
大坂産業大学財務部管財課 岩井 輝夫

海外研修2日目(8月24日)の午後に、タイ環境研究研修センターを訪問しました。当センターはJAICAのプロジェクトとして、1991年11月に設立されました。水質汚濁、大気汚染、騒音振動、廃棄物、有害物質の分野において研究、研修およびモニタリングの事業を行っています。



写真1 正面玄関

当センター組織構成は以下の通りです。

現在の構成員が159名(Government officials 59名、Technical and workers 18名、Project Employee 82名)です。そのうち、Ph.Dが6名、Master Degreeが42名、Bachelor Degreeが66名、Diplomaが46名の構成になっています。

また、当センターの研究ガイドラインと研修ガイドラインを図1と図2に示します。

これらのガイドラインに沿って研究と研修が進められています。現在のタイ国は、工業化にともなって大気、水質、土壌および騒音振動における環境問題が発生しており、種々の問題に対応するために現状調査や原因究明

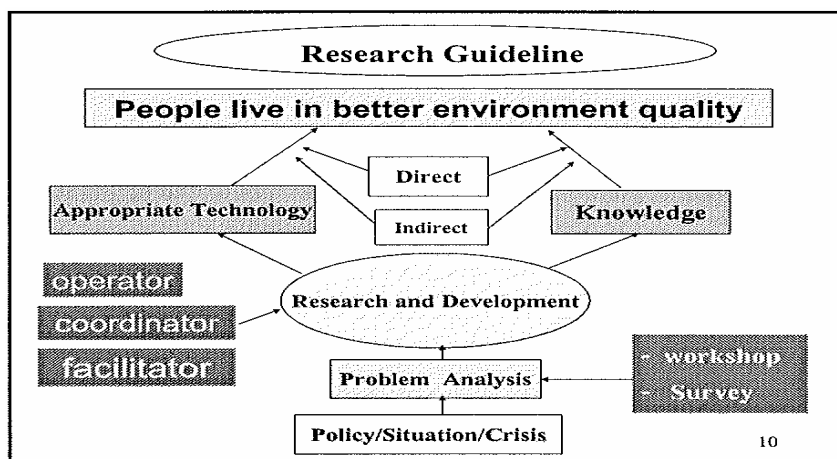


図1 研究ガイドライン

の他、環境管理を担当する行政の人材育成が行われています。

大気分析室（写真1）では、キャニスターとガスクロマトグラフ分析装置が設置されていました。

もう一箇所騒音振動研究室を見学しました（写真2）。空港周辺での騒音振動を調査し、その改善を検討していると伺いました。

研修生の夏休みであったのか、研修生からの生の声を聞くことができず、残念でした。当センターの開所から既に 5,000 名以上の研修生を送り出し、その 1/3 は地方公務員であったと伺いました。また、タイだけでなく周辺国への協力も行っているとのことで、東南アジア地域における環境問題対策関連の拠点になっています。



図2 研修ガイドライン



写真2 大気分析室



写真3 騒音振動研究室